

にほんご 日本語の「^{ぶんしょう}文章」と「^{ろうどく}朗読(MP3)」で^{まな}学ぶ

日本

(下冊 MP3版)

にほん くに <日本の国> と にほんじん <日本人>

(日) 大森和夫 (日) 大森弘子 (中) 曲維 著
(日) 笈川幸司 (日) 丹羽麻衣子 朗読

編集・発行＝日本・国際交流研究所

- 内容丰富、新颖，结构设置合理。
- 全面、详细地介绍了日本的自然、历史、社会、日本人的生活方式等方面的知识。
日本自然部分介绍了日本的四季及其相应的节日、习俗等。
日本历史部分介绍了日本的古代、中世、近世、现代的状况。
日本社会部分介绍了日本的政治、经济、教育、老龄社会等知识。
日本人的生活方式部分介绍了日本人的生活、文化、集团意识、宗教信仰等。
- 录音纯正、地道，录音时长为8小时，涵盖了全书的大部分内容。



一个学术性教育性
出版机构

网址: <http://www.fltrp.com>



外研社·综合语种出版分社
网址: <http://mlp.fltrp.com>

责任编辑: 钟 诚
装帧设计: 刘 冬

ISBN 978-7-5135-0306-8



9 787513 503068 >

定价: 50.00元
(含MP3光盘一张)

に ほん ご ふん しょう ろう どく まな
日本語の「文章」と「朗読(MP3)」で学ぶ

日本

(下冊 MP3版)

(日) 大森和夫 (日) 大森弘子 (中) 曲維 著
(日) 笈川幸司 (日) 丹羽麻衣子 朗読

編集・発行＝日本・国際交流研究所

外语教学与研究出版社
北 京

京权图字：01 - 2009 - 3312

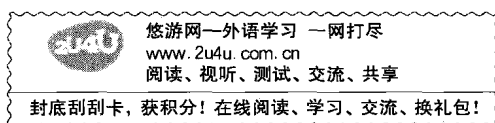
图书在版编目(CIP)数据

日本：MP3 版. 下册：日文 / (日) 大森和夫, (日) 大森弘子, 曲维著. — 北京：外语教学与研究出版社, 2010. 11

ISBN 978 - 7 - 5135 - 0306 - 8

I. ①日… II. ①大… ②大… ③曲… III. ①日语—语言读物
IV. H369.4

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2010) 第 215675 号



出版人：于春迟

责任编辑：钟 诚

装帧设计：刘 冬

出版发行：外语教学与研究出版社

社 址：北京市西三环北路 19 号 (100089)

网 址：<http://www.fltrp.com>

印 刷：北京市鑫霸印务有限公司

开 本：650×980 1/16

印 张：19.5 彩插 0.5

版 次：2010 年 11 月第 1 版 2010 年 11 月第 1 次印刷

书 号：ISBN 978 - 7 - 5135 - 0306 - 8

定 价：50.00 元 (含 MP3 光盘一张)

* * *

购书咨询：(010)88819929 电子邮箱：club@fltrp.com

如有印刷、装订质量问题，请与出版社联系

联系电话：(010)61207896 电子邮箱：zhijian@fltrp.com

制售盗版必究 举报查实奖励

版权保护办公室举报电话：(010)88817519

物料号：2030600001

「国会議事堂」 と 「首相官邸」

①



②

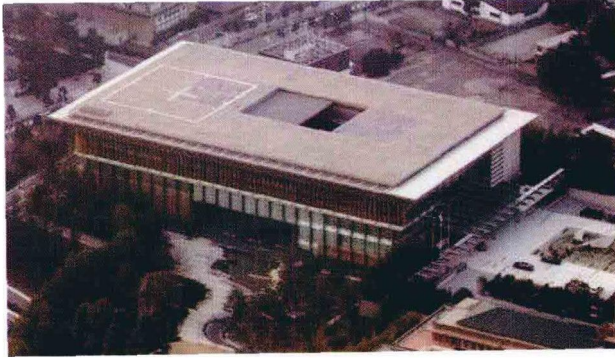


① 国会議事堂

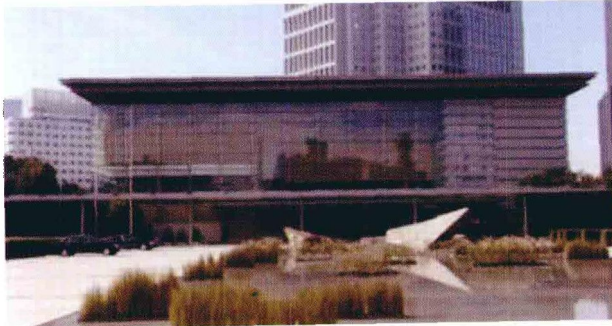
② 衆議院本会議場

国会議事堂は、憲法が「国権の最高機関で、国の唯一の立法機関である」と定めた国会が開かれる場所であり、日本の政治の中枢。衆議院と参議院の本会議場や委員会室などがある。国会議事堂の建物は、1920年1月（大正9年）に着工、16年9ヶ月かけて、1936年（昭和11年）11月に帝国議会議事堂として建設された。地上3階、地下1階、中央塔4階（塔屋最上部9階）。中央塔の高さは65.45メートル。両翼20.91メートルの左右対称形で、左側が衆議院、右側が参議院。所在地は東京都千代田区永田町1-7-1。

③



④



③首相官邸全景

④首相官邸正面

首相官邸は、内閣総理大臣（首相）が執務し、行政権の主体である内閣が会議をする閣議が開かれる（国会が開かれている時の閣議は国会議事堂内で）。官邸に隣接して首相が居住する首相公邸がある。

現在の官邸は2002年（平成14年）4月から使用されている。地上5階、地下1階。5階に首相執務室、4階に閣議室、地階に首相官邸危機管理センター、屋上にヘリポートなど。敷地の広さは4万6000平方メートル。所在地は東京都千代田区永田町2-3-1。

（①②④は「中沢健氏撮影」、③は朝日新聞社提供）

「^{ほんしょ}本書」の^{ないよう}内容に^{かんれん}関連する^{きって}〔切手〕



^{きんいん}
「金印」〔二〕《二》
〔歴史〕



^{ほうりゆうじ}
「法隆寺」〔二〕《二》
〔歴史〕



^{とうしやうだい じ こんどう}
「唐招提寺金堂」
〔二〕《二》〔歴史〕



^{みなもとよりともぞう}
「源頼朝像」
〔二〕《二》〔歴史〕



^{ぼたん}
 「牡丹」 「パンダ」
 にっしゅうへい わ ゆうこうじょうやくていけつ 10年 <1988年8月^{はっこう}発行>
 (【二】《二》[歴史])
 (平成 16 年 6 月 4 日郵模 1585 号)



^{こっかい ぎ じ どう} ^{ちゅうおうひろ ま ゆかめん} ^{も よう}
 「国会議事堂と中央広間床面のモザイク模様」
 (【三】《第三章》[三権分立])
 (平成 17 年 3 月 25 日郵模 1656 号)

まえがき

本書は、いろいろな角度から日本語を学び、「日本と日本人」を幅広く理解するための教材です。「日本と日本人」に関する基礎知識と、最近の「日本の動き」を理解して頂くために、「上册」と「下册」に分けて編集しました。合わせて活用して頂ければ幸いです。

本書は、国際交流研究所が1989年から8年間発行した日本語学習情報季刊誌『日本』と、2005年11月に出版した新版「日本語教材『日本』」（上、下。北京・外研社）に掲載した内容を書き直したり、新たに書き加えたりして、再編集したものです。

本書の作成に当って、次の方々のご協力を得ました。

居山静代、富森叡児、大谷健、の各氏。

本書の一部は、各氏に執筆して頂いたり、お話を聞いて大森和夫・弘子がまとめたりしたものです。特に、「下册」の編集に当たって大幅に書き換えました。

「本文」の内容に関する責任はすべて国際交流研究所にあります。

主な参考・引用文献は次の通り。

『日本史』（山川出版社）、『日本史年表』（吉川弘文館）、『入門歳時記』（角川書店）、『あなたの一句』（黛まどか著、バジリコ社）、『日本大歳時記』（講談社）、『知恵蔵』（朝日新聞社）、

『日本の仏教と民俗』（日本放送出版協会）、『朝日新聞』、など。

※ 「本書」の編集・発行に関して、下記企業から「援助」を
頂戴しました。

株式会社バイセス〈英文：VSES〉

システムエンジニアリングサービス。

〈本社・茨城県守谷市。社長・清水完洋〉

ほんぶん ちゅうしゃく しつもん ろうどく たんとうしゃ りやくれき
[本文、注釈・質問、朗読・MP3] 担当者の略歴

ほんぶん
[本文]

☆大森和夫 1940 年生まれ。早稲田大学政治経済学部政治学科卒。

朝日新聞記者（政治部、編集委員）を経て、1989 年に国際交流研究所を設立。「中国の大学生、院生『日本語作文コンクール』」の『作文集』や、「夫婦の『日本語交流』十九年間の足跡」などの編著書。現在、国際交流研究所所長。

☆大森弘子 1940 年生まれ。京都女子短期大学家政学部卒。
「日本語教材『日本』」編集長。

※国際交流研究所 136-0076 日本・東京都江東区南砂 6
— 7 — 36 — 709

メール=khomori8@u01.gate01.com

URL=http://hwm8.spaaqs.ne.jp/hiroko913/

ちゅうしゃく しつもん
[注釈・質問]

☆曲 維 1953 年生まれ。中国・遼寧師範大学卒。日本・同志社大学に留学、愛媛大学で中国語の専任講師。『日本の文字』、『新編基礎日本語』、『解雇』など著書、訳書多数。
現在、遼寧師範大学副学長、同大学大学院教授。中国日語教学研究会副会長。

ろうどく
[朗読・MP3]

☆^{おいかわこうじ}笈川幸司 1970 年生まれ。日本大学文理学部教育学科卒。
国会議員公設秘書、漫才師を経て、2001 年 7

月から中国・北京に滞在。2002年2月以来、中国・清華大学と北京大学で日本語教師。現在、清華大学人文社会学院に在籍。同時に、「発音、会話の秘訣」、「スピーチ・プレゼンテーション術」をテーマに、多くの大学で教育・講演を続けている。中国の学生たちの日本語サークル「KODAMA」を指導。

☆^{にわまいこ}丹羽麻衣子 1972年生まれ。東京アナウンス学院卒。

2009年3月、中国北京市に移住。同年10月からCRI中国国際放送局日本語部アナウンサーとして番組出演のほか、番組制作、取材、中国人アナウンサーへの発声発音、アナウンス指導、ニュース原稿校正などを担当。

* * * * *

●[題字「日本」]

大森弘子

※ 2009 年 8 月に出版した〔上冊〕の「目次」は次の通り。

【一】 にほんご 日本語

- 第一章 にほんご れきし 日本語の歴史
第二章 にほんご せいかく 日本語の性格
第三章 はな ことば か ことば 話し言葉と書き言葉
第四章 けいご 敬語
第五章 かんようく 慣用句
第六章 よ じ じゆくご すうじ つか 四字熟語（数字を使ったもの）
第七章 じょうすう し ことば あそ 助数詞と言葉遊び
第八章 あたら にほんご ご こうじえん 新しい日本語「100 語」（『広辞苑』から）

9

【二】 ぶんがく 文学

- 第一章 こ てんぶんがく 古典文学
一 げん じ ものがたり 源氏物語
二 まんようしゅう 万葉集
三 まくらのそう し 枕草子
四 ひやくにんいつしゅ 百人一首
第二章 きんだいぶんがく しょうせつ 近代文学——小説
一 なつ め そうせき 夏目漱石
二 もりおうがい 森鴎外
三 しまざきとうそん 島崎藤村
四 おお え けんざぶろう 大江健三郎
五 むらかみはる き 村上春樹

第三章 きんだいぶんがく 近代文学——はいく し たん か 俳句、詩、短歌

- 一 まつ お ばしょう はいじん 松尾芭蕉（俳人）
- 二 はいく き そ ち し き 「俳句」の基礎知識
- 三 みやざわけん じ し じん どう わ ざっ か 宮沢賢治（詩人、童話作家）
- 四 いしかわたくぼく か じん 石川啄木（歌人）

第四章 むかしばなし 昔話

- 一 つる おんがえ 鶴の恩返し
- 二 はな さ じい 花咲か爺さん
- 三 もも た ろう 桃太郎
- 四 うらしま た ろう 浦島太郎
- 五 いっすんぼう し 一寸法師
- 六 かさ じ ぞう 笠地蔵

第五章 かるた

- 一 え ど きょう と 江戸・京都の「いろは・がるた」

【三】 ぶん か 文化

第一章 でんとうげいじゆつ 伝統芸術

- 一 か どう い ばな 華道・生け花
- 二 さ どう ちゃ ゆ 茶道・茶の湯

第二章 でんとうげいのう 伝統芸能

- 一 か ぶ き 歌舞伎
- 二 のう きょうげん 能と狂言

第三章 でんとう 伝統のスポーツ

- 一 ^{すもう}相撲
- 二 ^{じゅうどう}柔道
- 三 ^{からて}空手
- 四 ^{けんどう}剣道

【四】 ^{にほんりょうり}日本料理 ^{わしょく}(和食)

第一章 ^{すし}すし (^{すし}寿司・^{すし}鮓)

第二章 ^{てん}天^{ぶら}ぶら (^{てんぶら}天麩羅)

第三章 ^やすき焼き

第四章 ^{なっとう}納豆

目次

【一】自然

四季——^{し き}季語と^{き こ}年中行事^{ねんちゅうぎょうじ} / 2

第一章 ^{はる}春 / 4

第二章 ^{なつ}夏 / 37

第三章 ^{あき}秋 / 60

第四章 ^{ふゆ}冬 / 83

【二】^{くに}国の^{すがた}姿

第一章 ^{こくど}国土と^{じんこう}人口 / 117

第二章 ^{れきし}歴史 / 128

一 ^{げんし}原始・^{こだい}古代 / 128

二 ^{ちゅうせい}中世 / 140

三 ^{きんせい}近世 / 147

四 ^{きんだい}近代・^{げんだい}現代 / 157

【三】^{せいど}制度と^{しゃかい}社会

第一章 ^{にほんこくけんぽう}日本国憲法 / 174

第二章	げんごう ねんごう 元号〈年号〉	／ 187
第三章	くに し く せいじ 国の仕組みと政治	／ 193
一	さんけんぶんりつ 三権分立	／ 193
二	せいけんこうたい せいとう へんせん 政権交代と政党の変遷	／ 205
第四章	けいざい 経済	／ 219
一	せん ご けいざい あゆ 戦後経済の歩み	／ 220
二	に ほんがたけいえい 日本型経営のメリット・デメリット	／ 222
三	はんせい か たい 反省と課題	／ 226
第五章	きょういく 教育	／ 234
一	がっこうきょういく あゆ もんだいてん 学校教育の歩みと問題点	／ 234
二	だいがく げんじょう にゅう し せい ど 大学の現状と「入試制度」	／ 245
第六章	しょう し こうれいしゃかい 少子・高齢社会	／ 255
一	すす しょう し こうれい か 進む「少子・高齢化」	／ 256
二	かい ご ほ けんせい ど 介護保険制度	／ 265

【四】 に ほんじん こうどうようしき 日本人の行動様式

第一章	せいかつ ぶん か 生活と文化	／ 272
第二章	しゅうだん し こう 集団志向	／ 279
第三章	じょれつしゃかい わ せいしん 序列社会と和の精神	／ 286
第四章	しゅうきよう しんこうしん 宗教と信仰心	／ 294